



第16回日本化学連合シンポジウム

「with コロナ時代における化学への期待」

日 時：2023年3月7日（火）14:00～17:30

開催方式：オンライン開催

主 催：日本化学連合

共 催：（予定）化学工学会、クロマトグラフィー科学会、高分子学会、触媒学会、石油学会、日本エネルギー学会、日本化学会、日本ゼオライト学会、日本地球化学会、日本膜学会、日本薬学会

協 賛：（予定）化学工業日報社、化学情報協会、日本セラミックス協会、繊維学会、先端膜工学研究推進機構

後 援：（予定）新化学技術推進協会、日本化学工業協会

参加費：無料 要事前登録

開催趣旨：

およそ3年間に渡る新型コロナウイルス感染症の蔓延により、経済、文化、研究、社会活動のすべてが大きなダメージを受けた。2022年後半となり、未だ安心はできないものの、次のフェーズを見据えて動き出すべき時期に来ている。化学は、新たな分子を作り出し、素材や製品に新たな機能を与えることで、健康で豊かな社会の構築に貢献してきた。コロナ停滞からのリスタートの時期に将来に向けて化学は何ができるのか、本シンポジウムでは、日本化学連合に参加する学協会の with コロナ時代における技術についての先端研究を紹介し、化学の役割を議論する。

プログラム

<14:00～14:10>開会挨拶

第I部 素材・材料の創製に基づく技術

<14:10～14:40>

1) 「新しい医療用酸素濃縮膜の開発：規則性多孔体・吸着」

金子克美（信州大学先鋭領域融合研究群先鋭材料研究所）

（期待するキーワード：酸素濃縮膜）

<14:40～15:10>

2) 「ウイルス分離のためのナノ構造膜」

加藤隆史（東京大学工学系研究科）

（期待するキーワード：ナノ構造制御）

<15:10～15:40>

3) 「高機能デバイス構築のための分子配向生体触媒の開発」

末 信一郎（福井大学理事・副学長）

（期待するキーワード：バイオセンサー）

<15:40～15:50> 休憩

第II部 予防・治療の技術

<15:50～16:20>

4) 「新型コロナウイルスに対するワクチンの開発」

吉岡靖雄（大阪大学 BIKEN）

（期待するキーワード：ワクチン）

<16:20～16:50>

5) 「COVID-19 治療薬 Ensitrelvir の開発」

立花裕樹（塩野義製薬株式会社事業開発部）

(期待するキーワード：創薬研究のスピードとそれを実現する底力)

<16:50~17:25>

6) 総合討論

<17:25~17:30> 閉会挨拶

- 参加費は無料ですが、事前の参加登録(3月3日(金)12:00 締切)が必要です
申し込み先 URL: <https://www.jucst.org/form/view.php?id=18379>
- 問い合わせ先：一般社団法人日本化学連合 事務局 E-mail: secretariat@jucst.org